

第 4 期 第 5 回 中 原 区 区 民 会 議

日時 平成25年 8 月 29 日 (木) 15 : 00 ~

場所 中原区役所 5 階 502・503会議室

午後 3 時 開 会

## 1 開会

司会 皆さん、定刻になりましたので、ただいまから第 4 期第 5 回中原区区民会議を開催いたします。

私は、本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第 6 条第 2 項の規定により本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。なお、本日の会議は、会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開いたしますので、御了承をいただきたいと存じます。

それから、本日、石井委員、伊藤委員、中山委員につきましては所用により御欠席のことと御連絡をいただいております。また、尾木委員におかれましては、恐縮でございますが、4 時ごろ退席をさせていただくという御連絡をいただいております。

それから、参与の関係でございますが、本日は、潮田参与、川島参与、原参与、滝田参与につきましては所用により欠席との御連絡をいただいているところでございます。また、市古参与、大庭参与、吉岡参与は、おくれるけれども、ここに来られると御連絡をいただいております。

それでは、中原区の区長であります板橋より御挨拶申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。区長の板橋でございます。本日は区民会議ということで、お忙しい中、お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

この間逐次報告はいただいておりますけれども、それぞれの部会において真摯なる議論があつてきょうのこの場を迎えるということについても感謝申し上げたいと思っております。

ちょっと長くなるかもしれませんが、幾つか報告をさせていただきたいと思っております。役所のことですので、ちょうど夏から秋、今まではどちらかというと夏枯れの状態だったんですけれども、これから来年度の予算編成に向けてという話がありまして、一方で、前の会議のときにもお話をしたと思うんですけれども、3 年ごとの中期計画を踏まえた上で行政は進めているものですから、今年度が第 3 期中期計画の最後の年なので、来年度からまた第 4 期目の中期計画、3 年間の計画をつくるということがありますので、今、予算編成と同時に、それは今後 3 年間どういう形で、ここでいけば中原区をどう経営していくかというような思想、考え方の中で今予算要求をしている状況でございます。

ただ、御承知のように、10 月の下旬には市長選挙を踏まえておりますので、非常に不確定な要素がございますので、我々としてもちょっとやりづらいところがあるんですけれども、そういう形で仕事を進めているところでございます。そういう意味では、この区民会

議での議論が、その予算編成なり、あるいは今後の中期計画にきちっと反映するという点についてはこの区民会議の趣旨でありますので、我々も真摯に受けとめさせていただきたいということがあります。それが第1点なんです。

もう1つの報告なんです、御承知のように、武蔵小杉の大きな開発があって、特に4月2日に東急スクエアさんがオープンしたことによって大きく人の流れが変わってくるような状況になっています。まさに町全体が大きく変わっていくんだらう。それは必ずしも武蔵小杉だけではなくて、中原全体のいろんな町々にもそういういろんな影響が出てくるんだらうというようなことが予想されることなのですが、これまで中原区役所としては、そういう開発については一応推移を見守るというような形の状況だったんですけども、もう少し積極的にこの町に打って出ようというような考え方を持たせていただきまして、この秋に3つのプロジェクトを立ち上げました。

既にこの委員の皆さん方にも幾つかの委員会では御協力いただいているところなんですけれども、その3つのプロジェクトについてちょっと御紹介をさせていただきたいんですが、1つは、武蔵小杉の地域連携推進委員会というのを8月27日に立ち上げました。この地域連携推進委員会の大きな狙いは、新しく来られる方も多くいらっしゃると思いますので、新しく来られる方とこれまで住まわれた方たちといかにいい関係をつくっていくか、難しい言葉で言えば、コミュニティをどうつくっていくかという話になっていくんですが、そういったものについて区役所に来ていただいて、その地域の関係者の方たち、マンションの開発事業者だとか、東急電鉄だとか、あるいはNECさんだとか、地元の企業の方たちにも来ていただいていろいろ議論していこうという組織でございます。法政大学の先生を含めた学識経験者も入れて議論もやっとならばいいんですけども、少し長期、3年から4年ぐらいかけてこの町をどうしようかというような議論をさせていただきたいと思っております。今年度はまだ骨格づくりでございますので、委員に選ばれた方たちの議論という形になっていくんですが、来年度以降はもう少し分科会に分けて、より多くの市民の方たちにいろんなテーマの中に来ていただいて、それでこの町をどうしていこうかというものをじっくり議論していただくという場面も幾つかつくっていきたく思っています。

そんなことで、この武蔵小杉の開発に対してどのような形で皆さん方が共有したイメージを持てるかというようなことも考えていきたいというのが1つでございます。

それからもう1つは、これと関連するんですけども、きょうも日本経済新聞には少し紹介されたんですけども、なかはらメディアネットワークというものを立ち上げました。9月からそれが正式に発足するという形になるんですが、マスメディアさんということよりも地域メディアということなので、例えばイツ・コミュニケーションの有線放送とか、かわさきFMさんだとか、あとタウンニュースさんだとか、雑誌でいくと「タマジン」という雑誌があるんですけども、あとK-pressさんというネットを中心としたところとか、あとSUUMOさんで雑誌を出していますので、そういう地域に責任を持つとい

う言い方はちょっと差し出がましいかもしれませんが、地域で積極的にメディアをやっている方たちにお集まりいただいてネットワークをつくらせていただきました。

これはこの区民会議でも特に尾木委員からよく言われた話だと思うんですけども、なかなか行政情報が従来の市政だよりやホームページだけでは届かない部分がありますので、ちょっと姑息な手段かもしれませんが、民間のメディアの力をおかりして、なるべくありとあらゆるところに行政の情報だとか地域の情報が届くような形でそういうメディアの方たちにもお集まりいただいて、いろんな媒体で中原の情報を行き交うようにしたいと考えています。

まだできたばかりですので、これからどうするかという話はまだまだ議論が進むところなんですけれども、そういう意味でぜひお願いしたいのは、非常にきめ細かなところでの取材とか番組づくりの中で御協力いただかなければならないことがございますので、NMNというロゴがあるんですけども、それは全部区役所がお墨をつけた番組になりますので、そういうところから取材の依頼がありましたら、ぜひ積極的に応えていただいて、それぞれの団体の宣伝なり活動なりの紹介もしていただきたいと思っていますのでございます。そういう形で地域を活性化していきたいというようなことを考えています。

3つ目なんですけれども、ちょっとこれは難しい話なので簡単にとどめますけれども、私どもではなくて総合企画局という本庁のいろんなトータルなことを考える局なんですけれども、スマートコミュニティという事業を立ち上げています。スマートコミュニティというのは英語なのでなかなか理解しづらいところがあるんですが、1つは、3・11以来、エネルギーの問題が議論されていますので、そのスマートコミュニティという位置づけの中でいかにエネルギーを使わないようなまちづくりをするか、あるいは防災の体制について強固なまちにするか、そういった狙いがあるって、インターネット等を使いながらエネルギー管理をするという事業なんですけど、川崎市内では4つ指定されているんですけども、そのうちの1つという形で武蔵小杉が認定をされました。これからまた、来年度以降に皆さん方に具体的な御依頼をすると思うんですけども、そういった意味でもこの町が全国的にも注目されているということがあって、さらに快適なまちづくりを市民の皆さんとともに進めていく、そんなイメージづくりもしたいなと思っていますので、ぜひそういったことも含めましてお願いしたいというところがございます。

ちょっときょうは長くなりましたけれども、そういった取り組みも進めさせていただいておりますので、ぜひ区民会議の皆様方にもますます真摯な御意見をお願いして、中原区のまちづくりにさらに御貢献いただくことをお願いしまして御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

司会 それでは続きまして、事務局より本日の資料について御確認をさせていただきます。事務局、よろしくお願いたします。

事務局 それでは、事務局より本日お手元の資料の確認をさせていただきます。

資料が大変多くなっておりますので、少し駆け足で確認をさせていただきますのでよろしく願いいたします。あと、通しのページを振っておりますので、あわせて御確認をいただきたいと思っております。

まず本日の次第、第4期第5回中原区区民会議の次第がございます。お開きいただきまして、別添の1、本日の席次表を御用意しております。お開きいただきまして、別添の2といたしまして本日区民会議の委員の名簿を御用意しております。

お開きいただきまして、こちらからが資料になりますけれども、資料の1といたしましてA3の資料3枚になっておりまして、3ページ、4ページ、5ページまでが資料の1となっております。

続きまして、資料の2でございますけれども、1枚目、6ページはA3の資料になっておりまして、次おめくりいただきまして、今度7ページ目はA4のサイズになっております。こちらまでが資料の2でございます。

続きまして、資料3といたしましてDIGの報告書を8ページに載せております。

続きまして、資料の4、こちらは第4期の区民会議スケジュールになっております。

次からが参考資料となっております、まず参考資料の1といたしまして、こちらが両面の印刷になっておりますけれども、15ページまでが参考資料1-1でございます。続きまして、16ページ以降が参考資料1-2でございます、こちらが第4回の課題調査部会の会議録になっておりまして、これが21ページまででございます。

続きまして、参考資料の2、こちらが第4回の運営部会の会議録でございます。こちらが22ページから25ページまでになっております。

続きまして、A3の資料、参考資料の3といたしまして、反町委員から御提案いただきました子育てふれあいカフェの案についての資料でございます。

続きまして、27ページ、こちらは参考資料の4といたしまして、ママカフェについてでございます。こちらが市民ミュージアムのママカフェになっておりまして、次のページがSUUMOのママカフェの情報になっております。ここまでが参考資料の4でございます。

次、お開きいただきまして、29ページが参考資料の5といたしまして、中原区の子育て情報の御案内でございます。

次のページ、30ページが参考資料の6、園庭開放についての情報でございます。

続きまして、参考資料の7、31ページですが、こちらは中原区のホームページのトップページになっております。左側が以前のトップページでございます、右側が今現在試行中のものですが、子育て情報のバナーの位置を試行的に変更している情報を載せております。

続きまして、参考資料の8、32ページ目ですが、こちらは昨年行われました国際交流協会の事業でございますけれども、外国人のための生活情報講座、こちらの資料を載せてお

ります。このページと次のページ、33ページと33ページの裏もその資料になっておりまして、33ページが英語の情報で、裏面34ページが日本語の情報となっております。

続きまして、参考資料の9、こちらは「親子で学ぶ日本語サロン」のチラシでございます。両面印刷になっております。

続きまして、参考資料の10、37ページと裏面38ページ、こちらが国際交流協会が発行しているハローかわさきのチラシでございます。

続きまして、資料番号は振ってごさいませんが、参考資料の11といたしまして、映画の上映会、「毎日がアルツハイマー」のチラシになっております。

最後、参考資料12、こちらページ番号等を振ってごさいませんが、自治推進委員会のニューズレターの資料を御用意しております。

資料については以上でございます。

司会 ただいまお手元の資料について御確認をさせていただきましたが、不足等はないでしょうか。よろしいでしょうか。——それでは、ここからは進行は川連委員長にお願いしたいと存じます。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

川連委員長 委員の皆様、こんにちは。きょう皆さんのまた元気なお顔を見て安心しました。私は去年ちょっと夏風邪で体調を崩しましたけれども、ことしはおかげさまで無事にきょうまで乗り切ってまいりました。3日前、急に涼しくなって、これでもう秋が来ちゃったのかなと思ったら、またきのうもきょうも暑くて、もう本本当にいいかげんにしてほしいですね。

## 2 会議録確認委員の選任

川連委員長 それでは、早速議事に入らせていただきたいと思います。

まず会議録の確認委員の選任をいたします。前回反町委員と但野委員にお願いいたしましたので、名簿の順番で恐縮ですが、今回は塚本委員と寺岡委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 3 議題

(1) 第3回及び第4回課題調査部会報告

(2) 審議テーマ「子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくり」に向けた取組について

川連委員長 それでは、議題の審議を進めてまいります。

まず初めに、第3回及び第4回課題調査部会の報告を受け、審議テーマ「子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくり」に向けた取り組みについて議論をいたします。課題調査部会では、4月23日と6月5日の2回にわたり課題解決に向けて熱心に議論をしていただきました。課題調査部会の審議結果について、課題調査部会部会長であります板倉副委員長に御報告をお願いしたいと思います。それでは、よろしくお願いいたします。

板倉副委員長 8月4日の図上訓練に御参加いただきましてどうもありがとうございました。たくさんの方が集まって結構有意義な時間をとれたのではないかと考えております。

それでは、今お話がありました子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくりということで、先ほどお話がありましたように、4月23日に第3回、それから6月5日に第4回、それぞれ課題調査部会を実施しております。それぞれ部会の会議内容につきましては、お手元の参考資料1-1の10ページ、それから2-2の20ページまでに2回の会議録が記載しておりますので、御参考にしていただければと思います。

それでは、一応第3回の部会で部会長と副部会長の選任を行いまして、私が部会長、それから成田委員が副部会長ということで2回の会議を実施しております。

まず第3回の課題調査部会では、先ほどお話ししました子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくりということでそれぞれ皆さんの御意見をいただきまして、乳幼児を持つ保護者の居場所づくりがまず必要なのではないか。それから家にこもりがちな親子、そういう方々が相談できるような場所とか方法、こういうものを検討していかなければいけないんじゃないか。それから、子どもの面倒を見ていただけるような地域の方々をつくれないだろうか。またはそういう人たちが必要なんじゃないか。それから、外国籍の市民の方々とか親子の方々が相談しやすいような場所、こんなものを検討してみる必要があるのではないか。それから、ある委員から、最近親の自覚が足りない人もいるんじゃないかというようなお話もございました。

それを一応踏まえまして第4回の部会でそれぞれの取り組み内容について検討してございます。これがお手元でございます資料1という、3ページから5ページ、A3の資料でございます。ここに一応検討状況をまとめてございます。資料が多いのでちょっと説明に時間がかかるかと思いますが、説明も余りうまくないんですが、すみませんが、ゆっくりと聞いていただきたいと思います。

分類としては、地域コミュニティや乳幼児を持つ保護者の居場所づくり、これにかかわる取り組み、これでいいますと、一番左側のところにそれぞれ大項目として入ってございます。それから情報発信や情報提供にかかわる取り組み、それから外国籍の方々にかかわる取り組み等に分類してございます。具体的な取り組みについては資料1の大体3つ目ぐらいのところに四角で黒く塗ってあるところがございますが、そこを説明させていただきたいと考えております。

初めに、健診にあわせて子育てのふれあいカフェを開催できないかということがございます。これは第3期の区民会議で一応子育てふれあいカフェというのを開催してございます。その辺で非常にうまくいったのではないかと。ですから、今回もやってみようかというお話が出ております。その中で3カ月健診を対象にしようではないか。それは、乳幼児を持つ保護者が初めて公的なところへ外出する機会としてはこの3カ月健診がいいんだろうと。ここで開催することによって少し広がる、要するに子育てを地域につなぐ取っかか

りができるのではないかという意見が出てございます。そういう意味で多くの保護者が参加できるようにするため、3カ月健診にあわせてやってみよう、子育てに関する情報交換の機会をつくってはどうかということでもまとめてございます。

次は、子どもや保護者が興味を持つ企画の検討体制づくりをしている。これはやはりカフェなどをつくって来ていただくためにも、保護者や子どもたちが興味を持つことが大切だということで、この取り組みをどうやっていくかということがございます。この取り組みは、我々よりも、現在子育ての支援団体、こういうものやっぴらっしゃる方々に立案、考えていただいたほうがいいのではないかと。どちらかというと、子育て支援の団体とか当事者の方々に参加していただいて検討を進めるといいのではないかと結論づけてございます。

次に、子育てサロンの課題の調査でございます。これも先ほどちょっと似ているところがございますが、子育てサロンについても、ことし活動が10年を迎えております。そういう中でまたさまざまな新しい課題が見えてきている。そういうことで、ここでこの課題を整理して今後の方向について認識を共有していくことがいいのではないかと。特に各地区で開催されている子育てサロンの関係者の方々にお集まりいただいて課題や今後の方向を検討するというのもできるのではないかと。というふうにご意見が出てございます。

次に、乳幼児を持つ保護者に伝えたい情報を載せたチラシ作成、区の子育て支援施策を広くしてもらうためには、市内で開催されるイベント等、こういうのを活用して大いにPRをする必要があるだろう。このためには、保護者に伝えたい情報を載せたわかりやすいチラシを健診やさまざまなイベントで配布するというような取り組みを考えてはどうかと。

次に、子育て施策を効果的にPRできる場所を拡大してはどうか。子育て支援というものを広く知ってもらうためには、保護者の目にとまる場所でPRする以外にはないだろう。このため、このたび子育てに関する相談機関などを示した資料を置いて広報する、こういう取り組みをしてはどうか。例としては小児科の病院等に置いておくことも1つの手ではないか。

それから、次に同じようなものですが、PRできそうな店舗等を拡大してはどうか。地域における子育て資源を多くの保護者に知ってもらうために、ドラッグストアとかスーパーマーケット、皆さんが買い物できるような場所にそれぞれのチラシを置く、もしくは協力店に御協力いただいて置いてもらうという手があるのではないかと。というお話でございます。

それから、4ページに移りますが、次には、こども文化センターの公的な施設の活用をしてはどうか。こ文を利用する親子が多いということで、こ文を活用した保護者同士の交流や情報交換が図れるのではないかと。という意見がございました。ただ、こ文の場合には開設時間が問題となって出てくるのではないかと。という話もございました。

次に、ママカフェを区内の各所で開催する。現在、本日の後半の資料にも入っておりますが、SUUMOの住宅展示場などで開催されてとても好評だ。保護者にとってはほっとする場所であり、保護者同士の交流が生まれる場になっておりますので、区内各所で開催できたらいいなという御意見もございました。例えば生涯学習プラザとか川崎市の平和館、こういうところを利用してはどうだろうか。また、ほかに使えそうな会場や運営団体を探す仕組みも必要だろうということもございました。ただ、これには安全とか衛生という問題が出てきてしまう可能性があるのも、この辺も考えていく必要があるだろうと思っております。

次に、保育園の園庭開放を活用してはどうか。公立、民営の保育園とも定期的にこれが開催されている。この中で多くの親子が集まるということなので、保育園の園庭開放を活用して子育て相談や保育園で実施しているさまざまな行事とかイベントへの参加を促すというような取り組みも可能ではないだろうか。

それから、子育て支援者養成講座というのがあるそうで、これの修了生を届けをさせていただくとか登録制にする中で子育てサロンとうまくつなげる、またつなぐということも考えていく必要があるのではないかと。

この講座なんですけど、講座については、子育てサロンに参加する体験講座もこの講座の中でそういう講座を行って、修了後の参加を促進するような方法を考えてはどうか。こんな取り組みから子育て支援に積極的にかかわってくれる人材をふやすことができればいいなということもございます。

それから、大学生等の参加をお願いしてはどうか。子育て支援の担い手として若者の参加をもっとふやせないかという御意見がございまして、大学生のインターン等の参加をお願いする方法が何かないだろうか。特に保育や看護などを専攻する大学生の参加をお願いするような対策を工夫してはどうだろうかということもございます。

次に、中原図書館で開催しております読み聞かせ活動があるんですが、これとタイアップして何かやることはできないだろうか。この中で保護者向けの子育て情報を提供していくということも考えてはどうだろうか。

それから、5ページに移ります。プレママとかプレパパを対象にした講座を充実してはどうだろうか。先ほど親の自覚が足りないという課題がございましたので、これから親になるべく人の教育をこういう場で進めてはどうだろうか。区では両親学級というのを実施しております。これも大変好評でして、キャンセル待ちの方が多いようなんですが、区としてもなかなか回数をふやすのは難しいという御意見もありまして、このような機会を何かほかの方法でふやしていくということを考えていってはどうだろうかということもございます。

それから、外国籍の方々に向けて講座等で情報提供を充実してはどうか。特に外国籍の方々に対して子どもに関する施策の情報を提供するということが大切だと思

います。また、国際交流センターや中原市民館の外国人向けの講座、こういうものを開設しておりますので、この辺を活用して情報提供をしていったらどうだろうか。

それから、ちょっとこの辺御存じない方もいるかと思いますが、医療通訳派遣制度、こういうものがございます。この辺がなかなか周知徹底されていないんじゃないか。この辺のところを、区のホームページを活用したり外国人市民が活用する施設などでチラシを置いてPRする、このような取り組みも必要であろうということでございます。

それから、区のホームページの載せ方といいますか、情報の出し方にもう少し工夫が必要ではないか。子育て情報を得るにはまず区のホームページを見るのが先と考えられますが、どこを見ればよいのかというのがうまくわからないという指摘がございまして、これでホームページを少しわかりやすいように修正する取り組みが必要なんだろう。特に外国籍の方々にもわかりやすくする。文字がいっぱい書いてあるんですが、文字だけではとてもわからないので、イラストや何か、もしくは写真を入れることでわかりやすくできるのではないか。

最後に、中原区の子育て施策を紹介する動画をつくってはどうか、こういうのがありました。これは、乳幼児健診などの待っている間に待合室で動画を放映して子育ての施策をPRできないか、こういう御意見でございます。中原区では、先ほど区長からお話がありましたように、イツコムが地域情報の番組がございまして、15分ぐらいでしたか、これを活用して、このあたりから動画をつくっていったらどうだろうか、もしくは動画の情報をいただいたらどうだろうかということでございます。これが2回にわたって課題調査部会の検討で、さらに運営部会で検討した内容が少し入ってございます。

ただ、課題調査部会側が悪いんですが、うまく集約できなくて、皆さん今御報告したように非常に大きくばらばらになってきていますので、この辺のところを何とかきょうの会議である程度絞り込めたらなとも考えてございます。

説明は以上でございますが、あと成田委員、何か追加することとか御意見等がございましたら、いかがでしょうか。

成田委員 ありがとうございます。非常に丁寧な説明をしていただきまして、本当にこのとおりでしたけれども、大体子育てに関しては、御両親と子どもを1つの核にしたときに、その核が地域という社会に出られるかということがまず一歩と、もう1つは、やはりそこで友達とのほかのいろいろな子育て中の方との横のつながりと、それからさらにそこではやっぱり得られない子育てに関するいろいろな助けを縦の関係で地域の方々をつないでいく、そういう横と縦のつながりを組み合わせた支援がやっぱり必要かなというのを感じました。

本当にこうやって表にしてみると、いろいろ多岐にわたっているんですけども、やはり大事なのは、子どもが生まれてから最初のステップをどういうふうに持っていくかということで、そのところではまずは地域で子どもを支えていく、また、将来的には親御さん

たちも、自分の子どもが地域に支えられていって育ったように、自分たちも地域の子どもたちを支えていく、そういう目標でできればいいかなという形でこの間の会議等は進ませていただきました。それをもとにしてこれからまたいろんなイベントについて検討していただければと思います。

以上です。

川連委員長 先ほど板倉副委員長から御報告いただきましたけれども、今、取り組み事項の案について御説明いただいたわけですが、これについて、審議テーマに関する取り組み事項について委員の皆様の見解をこれから伺いたいと思いますけれども、意見がございましたらお手を挙げてお願いしたいんです。なければ順番にお願いしたいと思いますので、青木さん、何か今の報告についてございましたら。

青木委員 今回の資料1の中で子育てサロンの課題の調査というところに関連するんですけれども、私も丸子地区の子育てサロンを平成15年の7月に立ち上げて、その年の9月に第1回のサロンを開催して、ことしの8月でちょうど満10年を経過しました。そこで得た結論は、本当に子育てサロンに携わってよかったということでございます。

こちらのサロンの効果としましては、いわゆる児童虐待の防止策とか子どものいじめ、非行、犯罪の防止ないし抑止に大変効果があるということでございます。具体的には2つあって、1つは通常の子育てサロン、もう1つは小学校での子育てサロンなんですけれども、通常の子育てサロンはゼロ歳から3歳までを対象として行ってきましたけれども、子育てサロンへの参加親子の増減が毎年5月に発表されます児童虐待の相談通告件数にまともにあらわれております。子育てサロンへの参加が多かった年は児童虐待の件数が減少しております。私はこれが気になって子育て支援からなかなか手を抜くことができないということで、核家族化が進む中で若い母親への育児指導と友達づくりというのは間違いなく必要でございます。それには優秀なスタッフとかボランティアがそろっている子育てサロンに参加していただくことです。

今後は子育てサロンに来れない親子をいかにして導くか。具体的には、こんにちは赤ちゃん訪問のウエートが、今、新生児訪問とこんにちは赤ちゃんでは9対1か8対2と非常にこんにちは赤ちゃんの比率が低いので、これを高めていただくか、それから、新生児訪問時に、地域の子育てサロンに参加すると、友達ができて明るくなってとPRをしていただきたいと思いますし、現在、本日の資料にもございますけれども、中原区のこども支援室から、中原区の子育てサロン会場を町内会自治会とかに回覧したり掲示板に掲示させていただいておりますが、大変ありがたいと思っております。これらを通して、とにかくサロンに参加していく親子をふやしていただいた、これが大変な効果につながる。

それからもう1つ、私ども丸子地区では小学校2校で学校の事業として子育てサロンを開催しております、私どもはそのお手伝いをさせていただいております。小学生が赤ちゃんをだっこするということが大変なことで、小学生の心が洗われて心が優しく豊かにな

ります。ふだんの表情とは全く変わります。すばらしい表情になります。それがひいてはいじめ、非行、犯罪の防止、抑止につながっておりまして、この2校の校長がいじめや非行はありませんと言っておられます。

こういうことから、何とかして中原区の全小学校で総合学習、生命の授業として実施できればいいというのが私の思いです。ちょっと長くなりましたけれども、感想でございます。

川連委員長 ありがとうございます。青木さんから今本当に一生懸命やってくさっていることがよくわかりましたけれども、実際にそういう小学生だとか中学生に赤ちゃんなんかを抱かせて、私も現場を見ましたけれども、本当に大切だと思います。

稲富さん、お願いします。

稲富委員 私も議論に参画をさせていただいて全体的に思ったのが、こういう社交的な場に出てこれない人をどうするかという話もあったんですけども、とにかく3カ月健診は多くの方が来られるはずですから、そのときにちゃんとキャッチアップをして、そのときにただ何かイベントをやっていたからさっと通り過ぎていくということがないように、健診に来た方がそこに何かしらの形で通っていくというんですか、ちゃんと意識をして通って行って、そこで改めて別のときに行けるような機会になったらいいなと思っていました、ですので、ここでいろいろ語られて、資料を用意したりということもあるんですが、総括的にはこういう健診に合わせたカフェを実施して、その中に例えば大学生だとかそういった方の参加だとか、そういったところも形づくっていくことと、あとはさっき言ったように、単なるイベントだからきょうは急いでいるからいいわではなくて、自分が実は思っているものを話をしたら聞いてもらえてというような形に結びつけられるような、その最後の詰めをしっかりと実現できたらいいなと感じております。また議論できたらと思っていますので、よろしくお願いします。

川連委員長 ありがとうございます。

梅原委員 梅原です。いろんな検討がなされていますけれども、先ほどちょっと話が出ましたけれども、こういう例えばふれあいカフェとかいろんなことをやって、その効果がどれくらい上がるのかというのがあるんですけども、私のかみさんが中原老後をよくする会というのをやっているんですが、これも効果がどれだけ上がるのかというのが非常に判断がしにくいというのがあるんですね。そうすると、効果がどれだけ出ているかというのはどうしてもファジーな部分があるんじゃないかなという感じがしております。

一体的に、例えば乳幼児とか、あるいは生まれる前とかのを中心に考えておられますけれども、我々ボーイスカウトの世界というのは、どちらかという大きな子どもが対象になるものですから、大きな子どものための例えばいろんな取り組みというのがどうもないような感じがしています。ただ、余り大きなことを考えるような施策をやろうとしますと、どうしてもイデオロギーとか変な思想が入ってまいりますのでやりにくい部分があ

るんじゃないかなと思うんです。ただ、そうはいうものの、きちっとした考え方を子どもに伝えていく必要があるんじゃないかなと、そういう感じがいたしました。

川連委員長 ありがとうございます。なかなかイベントを打とうと思っても、これも本当は何回も打てばいいんですけれども、なかなかそういうこともできないので、その辺がまた問題になると思いますよね。

岡本さん、何か。

岡本委員 このようにいろんな方面から皆さんが検討してくださるということは、中原区は本当に幸せじゃないかなと思います。私は孫がいるんですけれども、集まる情報が皆さんから全然来ないということですのですごく悩んでいるんです。だから、今までは何でそんなに悩むんだろう、子育てというのはそんなに悩むものじゃないと思っていたんですけれども、実際孫を持ってみて、皆さんのところの情報とかそのようなことがないところはすごく悩んだなと思って、中原区は幸せだなと私は感じております。

私たち、この前反町さんなんかと子育てふれあいカフェに参加させてもらいまして、今、梅原さんが効果は何だろうとおっしゃったんですけれども、私たち、おやつということで、皆さん、おやつというものはこういうものだと決めたようなものがおやつだと思っただけで、私たちが、煮干しとかそういうのも使って、こんなものもおやつになるんだとすごく感激をしてくださって、またいろんなところでそういうような御意見を聞いて、あのときよかったねということを目にしていますので、少しずつ効果は上がっているんだなと思いました。

というのは、私たちも年間何回か子育てののところへ参っています。それで、こういうふうに親が集まる場所をつくってあげるといことは第一条件で一番必要だと思いますけれども、その中で親御さんたちは子育てのことで悩んでいるということは食に対してすごく悩んでいらっしゃるんですよ。だから、私たち、食を通して子育てを支援していますので、何かイベントの中で少し私たちの発揮できるところがあればいいなということをお願いしております。

いつだったか、子育てカフェというのはすごく私たち全員が張り切ってして、これは成功したんじゃないかなと思っております。それも子育てのそういうふうな場所へ行ってこのようなことをやってくれということをとくさんの方から耳にしましたので、これはよかったかなと思っておりますのと、それから、大学生の起用というのは、若い人たちの力をこういうふうにおかりすることはすごくいいんじゃないかなと私は受けとめておるんです。そういうことです、よろしく申し上げます。

川連委員長 ありがとうございます。

あと尾木さん、お急ぎのようですので。

尾木委員 取り組みについては本当にこの資料にございますようにいろんな取り組みがあるわけでございますけれども、一番肝心なのは、一番最後の行政の取り組みというところ

にある情報の発信とか提供にかかわる取り組みの中で、もうちょっとメディアをうまく使うとか、参加してみたいなと意欲がわくような、文章なんかでも紋切り型のパンフレットなんかつくっても余り興味を引かないのではないかな、もっと民間のほうがいろいろ目を引くパンフレットをいっぱいつくっていますので、ですから、やっぱりいろんな取り組み、ここにあるのは本当にすばらしい取り組みだろうと思いますけれども、そこへやっぱりお母さん方が目を向けていただかなければ、どんな取り組みをしても参加がなければ意味がないことなので、いかに参加させるかということはやっぱり最後の、行政の責任にするわけじゃないんですけれども、もうちょっとおもしろいお知らせの方法を考えたり、このところを知恵を絞れば大分効果が上がるのかなというふうには思っています。

別に行政が努力をしていないということを言っているわけではございませんけれども、どうしても過去のずっと流れの中で考えちゃうから、ちょっと発想の転換をされたほうがいいのかというふうには思いますけれども、それでは、おまえに何かアイデアがあるかという、それほどあるわけではございませんけれども、これだけの皆さんが集まっているわけですから、奇抜なアイデアが出れば、それをやってみようという行政の広い心があれば、結構情報発信の内容も変わっていくのかなと思っていますので、そういうところを期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

川連委員長 ありがとうございます。今の尾木さんの意見は事務局とよく相談いたしますので。

ここでちょっと、まだまだ審議がありますので次に移らせていただきます。

ここで26ページを見ていただきたいんですけれども、よろしいでしょうか。参考資料3をごらんください。取り組み案にもありました子育てふれあいカフェについての提案でございます。この資料につきましては反町委員から御説明をお願いしたいと思います。反町さん、よろしくお願ひいたします。

反町委員 よろしくお願ひいたします。

では、参考資料の3です。26ページなんですけれども、こちらをごらんいただけたらと思います。子育てふれあいカフェ（案）ということで、文字ばかりで大変恐縮で、本当は写真とかを交えてもっとビジュアル的にいいものの資料をつくれたらなと思ったんですが、時間が足りなくてこういった形になったんですが、とりあえずこの資料について説明をさせていただきます。

2011年の11月に一度初の試みということで子育てふれあいカフェをこの区民会議で実施させていただいております。岡本委員からもお話をいただきましたが、主に委員の中での企画としては私と岡本委員の幼児食の試食ということで実施いたしまして、確かに何をもって成功とするとか成果とするかというところの判断は難しいと思うんですが、実際の現場に立ち会っていただいた、ごらんいただいた方、参加いただいた方の多くは成功したかなと思っていただけるようなイベントの雰囲気であったことは間違いのないと思いま

す。

そんな中で今回改めてやるということで、基本的なコンセプトとしては2011年に実施した子育てふれあいカフェをベースに考えたんですが、当時は初の試みということもございまして、その先繰り返しをやっていくというようなところはそれほど重視せずに、とにかく第1回目をできるだけいいものにしたい、成功させたいというところでそれなりの手間と時間をかけて開催したわけなんですけど、今年度は開催できないのかもしれませんが、継続的に繰り返し開催していくことを前提に考えて、事前の準備や開催日の人員を最小限に抑えることができる、もう1つは、できる限り費用をかけずに行うということを重視して企画を提案させていただきたいと思います。

区民会議の委員の皆さんと企画、運営の主体となって限られた予算で行っていくということになると、この2点が重要なのかなということで、その上で、やはり区民の方に喜ばれるということ、親子で参加でき、楽しめるということ、子育て支援につながるということ、交流の場及び情報発信、情報交換の場としての機能を充実させていくべきと考えます。これはイベント形式ということで、実際の中身、内容、プログラムを工夫することによってすごくいろんな機能を果たせると思っておりまして、先ほど区長の御挨拶の中にもありましたが、やはり従来から住まわれている方と新しく住まわれる方、そういう交流、コミュニティ形成の場、そのきっかけとしての役割も担えるのではないかと、そういう役割を果たすべきなんじゃないのかなという考えはありますので、そういう視点はぜひ考えていきたいと考えております。

その次、概要については、日時は未定ということでございますが、時間帯は大体イベント開催時間としては13時半から16時ぐらいがいいのではないかと、日時未定とした上で、第1回目を開催していくに当たって準備期間として2カ月程度は必要ではと思っております。

会場においては前回と同じ場所になるんですが、中原区役所の敷地内のウッドデッキが、雰囲気と、それからやはり健診に来られた方の動線、御移動されるルートということで、そのルート上にイベントをやっている場所があって、もう何歩か踏み込んでいただければ、すぐイベントのほうに寄っていただけるということでもいいのかなと思うんですが、ただ、開催時期がちょっと寒い時期になると、やはり屋内での開催も検討しなければいけないかなと思っております。今一応この企画としては特段寒い時期というのを考えずに、純粹にイベントを実施するに当たっての会場の環境ということで、ベストなのはウッドデッキ上が会場の配置としても雰囲気としてもいいかなと考えております。対象としては、3カ月健診ですか、定期健診に訪れた親子ということで、参加費は基本的に無料ということとです。

イベントの構成でございますが、やはりイベントらしくということで、ステージ系の企画はぜひやりたいと思っております。前回は歌を歌えるお兄さんとお姉さんに来ていただ

いて、さらに紙人形劇、たしかウサギとカメのようなお話だったと思うんですけども、そういったお話をさせていただきまして、大変子どもさんたちには喜んでいただけたと理解しています。

それから、やはり力を入れていきたいのが情報発信コーナーということで、子育て支援関係のこれにかかわるイベントですとか講座ですとか、もちろんママカフェですとか、とにかくこういうものがあるんだというのを、ぜひここをちょっと手を抜かずにしっかりした内容に力を入れていきたいなということです。

やはり今回やらせていただくに当たっては、前回成功したという印象を持っていながら、改めて振り返って反省をするとすると、なるたけいい雰囲気、成功という雰囲気ではあったんですが、あれだけの本当にたくさんの方に集まっていたいただいて、もっともってできたんじゃないかなと後から思ってしまったんです。その1つが、やっぱり本当にせっかく集まっていたいただいた方々に伝えたい情報を伝え切れなかったかどうかということ、そういう状況、環境があったかということ、まだ改善の余地があると思ったからであります。

その次、飲食提供ブースとしては、前はカフェの設置です。カフェというのはお茶とかを楽しんでいただけるような提供できるスペースと、岡本委員にも全面的にやっていた幼児食の試食ということなんですが、この飲食関係については、これはどこでやってもそうだと思うんですけども、保健所の手続ですとか、そういった必要な手続等については詳しい方というか、事務局にもよく相談しながら慎重に適切にやる必要があるかなというところと、カフェでお茶やお菓子を提供する場合は料金についても要検討なのかなというところ、これも本格的なカフェをやろうとすると手間がかかりますので、繰り返しかできるだけ継続的に簡易的にということでは、ここはできる限りシンプルなシステムにしてもいいのかなと思っております。

続いて、タイムテーブルなんですが、これも案でございますが、表の形式で、11時半に担当するスタッフに集まらせていただきまして準備の開始をする。13時半からイベントのスタートということで、ステージで何か盛り上がるようなイベントらしい内容ができたかなということで、ステージがずっと休憩なしで進行していってしまうと、その大きな目的の1つである参加者同士の交流ですとか会話とか、そういうのがとりにくくなってしまうと考えますので、やはり休憩時間でその情報発信コーナーをごらんいただいたり、参加者同士お話しいただいたり、そういう時間としてステージを休ませる時間というのは設置したほうがいいかなということでこういったプログラムとさせていただいております。イベント自体は16時に終了して片づけをして終了というような、現段階ではこういったシンプルな内容ですが、この中をどこまで充実した内容としていけるかというところ、これからぜひ皆さんの御意見をいただきながら準備していけたらと思うんですけども。

そのときに必要人員としては、これも最小限でイメージしたものですけれども、イベント全体の進行管理担当としては1名ということで、これはよろしければぜひ私がやらせて

いただきたいと思います。それ以外に準備、片づけ、運営スタッフとして3名程度は必要であろうかというところ、飲食ブースの担当としてやはり最低3名は必要かなというところ。あとはステージプログラムに出演いただく方なんですが、必ずしも歌とか通常ステージでやるような内容以外にも、例えばお話をさせていただいてもいいと思うんです。そういうすばらしい適切な方がいらっしゃったら、講師のような方も含めていらっしゃったらいいかなというところと、あと、やはり必要物品等の運搬等がありますので、車両も含めてドライバーの方は1名必要かなというところでこちらに入れさせていただいております。

その次、こちらは大体前回開催の実績からなんですが、テント、各ブース、情報発信、飲食ブース、マイク等を設置する音響機器のところは屋根が必要かなという意味でテントと、あと長机、折り畳み椅子、ステージ、アナウンス用の音響機器、イベントをこちらでやっていますというような看板が2枚ぐらいないとちょっとわかりづらいので、ちょうど通路に当たる、入り口に当たるところにわかりやすい看板を設置できたらなということを入れております。

それから、客席用のガーデンテーブルセット、できるだけいい雰囲気にしたいということで、前回もお出ししたものですけれども、単純な長机とパイプ椅子ではなくて、ちょっと丸い感じのパラソルも立てたらおしゃれになるような、そんなテーブルがあったほうが、ここはちょっといい雰囲気を創出する意味でも、演出する意味でもそういうテーブルセットがあったらいいかなと思っております。

このシンクというのは仮設水場設置用ということなんですが、前回も飲食関係をやる際は必ず参加者の方が手を洗える場所を設置するよという指示を保健所からいただきましたので入れさせていただいております。

最後になりますが、費用についてということで、講師の謝礼が、なかなか難しいところもあると思うんですが、5000円から1万円程度でお願いできる方であると大変ありがたいのかなというところと、外部スタッフ、やはり運営上最低限必要な準備と片づけの要員、人工が必要かと思しますので、外部から手配した場合は大体1名5000円ぐらいかなと、アルバイトのようなイメージですね。

それから看板製作、これも繰り返しやっていくことを考えて、1つ最初にちょっとかわいすてきなデザインのものをつくれたらと思うんですが、時間とかプログラムの内容とかはそこだけ紙を張りかえるだけで済んだり、あるいは書き直すだけで済むような使い回しができるデザインができたらいかなと。それ以外の音響とかテント、テーブルなどのイベント用品一式もちょっと1万円ぐらいで手配していけるかなというところで、今申し上げたところも全て含めて、区民会議の委員の皆さんですとか、あるいは地域の団体さんの御協力を得れば1回当たり3万5000円ぐらいでできるのではないかなというのを1つの案として数字をお示しさせていただいているところでございます。

済みません、大変長くなりましたが、資料の説明については以上でございます。ありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございます。ただいま反町委員から計画の案の報告がございました。それについて何か質問でもあればお願いしたいと思います。どなたかありますでしょうか。

梅原委員 今発表があったもの、実はボーイスカウトをしょっちゅうやっています、何のためにやっているかということ、ボーイスカウトの子どもたちを募集するためにこういうイベントをよくやっているんです。いろいろここに書いてありましたけれども、ボーイスカウトでやっているのは、まずテントを張ったり、3階建てぐらいのやぐらを竹で組んでつくってしまうんです。その間にモンキーブリッジということでロープを渡して人が渡れるようなロープをする。そこに小さい幼稚園の子どもとか小学生の低学年の子どもに渡らせるんです。それから、こういうことだけですと退屈しちゃうので、例えば見張り台に上がるとかそういうこともさせますし、料理をやると、マシュマロを焼いたり、夏ですとアイスクリームをつくったりチョコレートのお菓子をつくったり、それから焼きそばとかポトフとか、そういうのをやるわけです。子どもたちに大々的にPRして、親と一緒に来なさいということで来ていただいて、ボーイスカウトはおもしろいだろう、入ったらどうかなというようなことで何人かそのたびに入れるというイベントをやっております。

ここに今いろんな作業の話がありましたけれども、例えばボーイスカウトのどこかの団に、こういうのをやりますから手伝ってくださいということを書ければ、人数をばあんと出してきて、何をやるかという相談をしてこういうイベントができると思います。一応予算の話がありましたけれども、やっぱりいろんな料理をつくって集まった子どもたちに振る舞いますから、大体1万5000円ぐらい予算がかかります。ほとんど食費になります。

川連委員長 梅原さん、ありがとうございます。反町さん、今、梅原さんから貴重な御意見が提案が出たようですので、よろしくお願いたします。

反町委員 そのボーイスカウトの皆さんにお願いするという発想は全くありませんでしたので、もしそれでそういう連携の仕方というか、それができるのであれば、皆さんの意見を伺ってですけども、ぜひそういうやり方でいいのかなと思います。ありがとうございます。

川連委員長 あとはよろしいでしょうか。

寺岡委員 この催しは平日なのか土日なのかちょっと私はわからないんですけども。

反町委員 健診日というのがありまして、それは平日行われるのが一般的なはずですので、済みません、私の知る限りですけども、私は今平日のイメージでしていたんですが。

寺岡委員 そうすると、今ボーイスカウトといっても、多分学校へ行っていると利用できないと思うんですけども、ちょっとお聞きしたいんですが、前回の催しに関して私は余

り細かいことはわからないので、もし質問した中で間違っていたら訂正しますが、多分2011年に保健所の前で子どもさんのアンケートをとらせてもらったことがあるんです。そのときの状況からいきますと、13時から16時というこの時間帯で、多分14時を過ぎちゃうと小学校の低学年の方が帰る時間になるんです。そうすると、3歳児とかゼロ歳児とかの健診で見えても急いで帰らなくてはいけないというようなこともあるので、もしこういう催し物をやられるのであれば、健診は多分午後からだと思うんですけども、もし午前中から健診があるのならば、午前10時ごろから午後2時か2時半ぐらいでやめるような格好でやられたらいかかと思えますけれども、ちょっと参考までにお話ししたいと思います。

反町委員 ありがとうございます。時間についてはぜひそういう御意見もいただいて決めていけたらと思うんですが、あと実際に健診が行われる時間を改めて確認させていただく必要があるかなと思います。念のため申し上げさせていただきますと、基本的にこれはこのカフェに御参加いただく方の参加者の方の流れとしては、健診を終えてから、その終わった流れで来ていただくというのを私の中で想定しております。

寺岡委員 どうしても小学校の低学年の帰る時間が早いので、多分2時半を過ぎると、上の子どもさんのいらっしゃるお母さん、お父さんなりは早く帰るということで、アンケートのときにはほとんどアンケートに答えてもらえないケースがありましたので、ちょっと参考までにあれしておきます。

反町委員 承知いたしました。ありがとうございます。

川連委員長 寺岡さん、どうもありがとうございました。

時間の都合もございますので、発言は一応ここまでとさせていただきます。多くの御意見をいただきましたので、現在の案に反映できるものはできるだけ取り入れたいと思います。今後の事務局との調整は一応私に一任させていただきたいと思いますので、大筋でこの取り組みについて皆さんの御了承いただくということでよろしいでしょうか。——わかりました。それでは、一応本案は区民会議としての取り組み案とさせていただきます。

### (3) 第4回運営部会報告

#### (4) 第4期区民会議3つ目の審議テーマについて

川連委員長 次に、7月10日に開催いたしました第4回運営部会の報告に移ります。運営部会では、主に本日の区民会議の運営に関することと3つ目の審議テーマについて議論いたしました。運営部会の審議内容につきましては、運営部会副部長であります富岡副委員長に御報告をお願いしたいと思います。次の議題である第4期区民会議3つ目の審議テーマについて議論をしてみたいと思います。

それでは、富岡副委員長、報告をよろしくお願いたします。

富岡副委員長 それでは、運営部会報告をさせていただきます。7月10日に委員7名全員の出

席で運営部会を開催しました。まず板倉副委員長から課題調査部会の報告を受け、本日の会議への付議内容を確認いたしました。続いて、第4期区民会議3つ目の審議テーマについて審議を行いました。課題調査部会の報告に対する審議内容につきましては、先ほど板倉副委員長からまとめて報告がありましたので、私からは次の審議テーマに関する運営部会の審議内容を報告いたします。

それでは、お手元の資料6ページ、資料2をごらんください。A3の資料でございますが、こちらは昨年度に行われた準備会議や委員皆様へのアンケートで検討テーマとして出していたいただいた御意見などをまとめた資料です。第1回本会議における意見を吹き出しで記載しております。中心にある楕円では、中原区において特に大切なテーマとして、新旧住民の交流やコミュニティづくりなど地域住民組織の活動、まちづくり活動のテーマや、多世代交流など福祉の推進、健康の推進のテーマを示しております。また、普遍的に大切なテーマとして、左上では防災、地域交通の向上、左下では子育て、教育、右では環境、魅力発信、活力向上などがそれぞれテーマとして出ております。これらのテーマが相互に関連するイメージを、防災と新旧住民の交流によるコミュニティづくり、子育て支援と新旧住民の交流や多世代交流、文化、伝統、歴史などの中原区の魅力発信と新旧住民の交流という形でテーマ同士の関連について記載しております。運営部会では、これらの検討テーマを改めて確認しながら、3つ目の審議テーマについて意見交換を行いました。

1枚おめくりいただきますと、7ページにA4の資料がございます。こちらに第4期の審議テーマとしてまとめた3つの案がございます。昨年に行われた第1回運営部会において委員皆さんの意見が比較的多かった防災、子育て、魅力発信と活力向上を第4期の審議テーマの候補にすることとしておりますが、防災、子育ては1つ目、2つ目のテーマとして既に審議をしておりますので、3つ目の審議テーマについては既に候補に挙がっている魅力発信と活力向上でよいかどうか議論がなされました。委員からは、テーマとして大き過ぎるのではないかとの意見が出されましたが、テーマは大きく捉えておいて、議論で狭めていくことが望ましいという意見でまとまりましたので、運営部会としては魅力発信と活力向上を3つ目の審議テーマとしてよいのではないかとの結論に至りました。また、委員からは、中原区の文化、伝統、歴史を考えるきっかけになる、伝統、文化を次世代に伝え、新しい住民に定着してもらうためにも魅力発掘は大切であるなどの意見がございました。

当日の詳しい審議内容は参考資料2の会議録で御確認いただけます。本日の会議では、次のテーマとして魅力発信と活力向上がふさわしいかどうか、また魅力発信と活力向上をテーマとしたとき、どういう視点で検討すべきかなどについて委員皆様の意見を確認し、さらにその内容を次回の運営部会で深め、審議テーマとして決定したいと考えております。

説明は以上です。ありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございます。今、富岡副委員長さんから報告がありましたけれども、その中にありました、次のテーマとして文化、伝統、歴史など中原の魅力発信と活力向上がふさわしいのかどうか、また、魅力発信と活力向上をテーマとしたとき、どういう視点で検討すべきなどについて委員の皆さんの御意見をお願いしたいと思います。とにかく絞り込みを行いたいと思っておりますので、意見がある方は挙手をお願いいたします。ちょっと難しい話になりますけれども、よろしくお願いいたします。もし御意見がなければ、また反町さんからぜひお願いいたします。

反町委員 さっきたくさん話したので少し短目にしますけれども、文化、伝統、歴史など中原区の魅力発信と活力向上ということで、私は生まれも育ちも中原ですから、本当に中原のすてきなところを、今改めて1つ挙げろと言われると意外と大変なんですけれども、すごくすてきなところはたくさんあるし、私も地元でいろんな仕事をさせていただいている関係で、新しく中原区に住まわれている方とかもたくさん新しくお友達になったりもしているわけなんですけれども、結構中原区のことを知らないです。それは本人が知る気にならなければというところもあると思うんですけれども、やっぱり何か地域に関心を深めてもらうようなきっかけが必要だと思っておりますので、中原区において特に大切なテーマである新旧住民の交流や多世代交流という、その交流のための話題というか機会としてこの中原区の魅力が内容になるというのはすごくいいんじゃないかなと思います。

さっき板倉さんが御報告いただいた内容の中でもちょっと入れたらなと思っていたことがあったんですけれども、こういういろんな情報を発信していく上で、先ほどもお話があったんですが、動画のようなものを活用されるということで、先ほどの子育て支援に関係するところでも既に使われている動画もあるし、あと中原区の魅力を伝えるような動画も既にあると思うんですが、今どんなものがあるかというのを私も把握し切れませんが、やはり動画の効果というのはすごく、紙とかよりも、あとホームページであっても、単に写真1枚とテキストが並んでいるのとページを開いた瞬間に動画がもうそこにあって見られるのでは全然効果が違うと思うんです。ですから、ぜひそういう効果を高めるための内容とか魅力を伝えるためにもしベストなものが今ないのであれば、新しく何かつくっていくのもいいかなと。

それから今みんなスマートフォンで見るとは思いますが、今スマートフォンでも動画が見られるんです。ユーチューブとかもすごくちゃんと、パソコンで見ると同じように見られるので、そういうので情報を集めている方もたくさんいらっしゃるんで、ちょっと具体的な話になっちゃいましたけれども、そういう手法、やり方も何か検討していけたらいいのかなと思います。

以上です。

川連委員長 どうもありがとうございました。

但野さん、お願いいたします。

但野委員 このような形で文化、伝統、歴史という、中原区に、子どもたちも勉強していただきますように、いろいろな伝統であったり歴史がある魅力あるところがたくさんありますので、ぜひそういったことも親子で楽しめるイベントなどがあつたらいいかなと感じました。こういった内容で楽しいことができれば、参加してくださる方もいらっしゃるのではないかなと感じています。

新旧住民の交流ということで多世代交流なんですけど、人口がふえてきている中原区の中で、小学校6年間と中学校3年間、9年間の子どものたちの人口もとても多いものだと思います。今、土曜日が授業がないですけども、親の仕事の関係で土曜日出かけられない子ですとか、あと金銭面などもありますし、手伝いができないと、なかなかチームの習い事もできなかつたりというような現状もあります。実際にボールで遊べない公園がほとんどですので、チームに入らないとボール遊びができないような状況もございます。そういった中でやっぱりそういう子どもたちも含めた交流のイベントなどがあればいいなと感じています。

あとは小学校のほうで、中学校でもなんですけれども、今、教育共生プログラムと言って、共生というのはともに生きるという字を書いて、川崎市が大好きな子どもたちになってほしいという思いでいろいろな勉強をしています。そういった中でも子どもたちもそういったものに対する意欲もたくさんあるかと思しますので、子どもたちも含めた、特に再開発で商業施設が大変近くに来て、子どもたちの生活というか、環境も大分変わってきています。そういった中で子どもたちが、お金の使い方であったりいろんなことが家庭の事情や環境などで意識の差が出てきていたりということで、ちょっとこれからの小中学生はどうなっていくのかなということが気になっていることもあります。ちょっと外れてしまったんですが、今気になっていることも含めましてお話しさせていただきました。

川連委員長 ありがとうございます。新住民のことについては特に塚本委員に聞かなきゃいけないんですけども、何か御意見が。

塚本委員 再開発地区のマンションでも、エリアマネジメントではこの二、三年でようやくマンション同士の連携とかネットワークが少しずつですができるようになってきて、まさにこれからマンションと地域をどういうふうにつないでいくか、新旧交流ができていくかという段階に入ってきているので、その上ではやっぱり文化とか歴史というのは非常にいいコンテンツになってくると思いますので、ぜひ進めたいなと思います。

ただ、子育て支援のところもそうなんですけれども、区民会議としての単体のイベントをやって終わりというのはとてももったいないので、なるべく区がやっている施策と一緒に、例えばさっき区長のお話で地元メディアでいろいろ中原区の魅力を発信していくようにするんだというお話がありましたけれども、それと連携してやっていけないとか、子育て支援についても地域地域でいろんな施策をやっているでしょうし、子育て支援の団体もいっぱいあって、そのネットワークを組んでいる部署も多分区役所の中ではあるんで

しょうし、あと中原区の中では子育て世代を狙っているビジネスの企業もあるでしょうから、そういうところと情報交換したり情報共有して知恵を出していくというようなことも大切じゃないかなと。

これも区長のお話にあった地域連携推進委員会というのがまたできたという話で、それもたまたま私は委員に入っていますけれども、そのメンバーで地域住民だけでなく企業も入って、あと行政もさまざまな部署の方がいらっしゃる委員会ですけれども、それぞれが持っている情報を共有するだけでも何かいいアイデアというか、知恵が出てきそうな気配というか、兆しを感じられて少し期待をしているんですけれども、そういうふうになるべくそれぞれが持っている知恵、情報を束ねていくような形で進めていけるように、単発にならないように進めていきたいなという思いを持っています。

川連委員長 ありがとうございます。寺岡さん。

寺岡委員 中原にも文化、伝統、歴史という、これはやはり大事にしたらいいと思うので、一昨年写真集をつくりましたよね。あれと同じような格好で何かこういうものの冊子みたいなものをつくってみるのもおもしろいんじゃないかと思うんです。

私も最近まで知らなかったんですけれども、川崎には日枝神社とか大楽院、こういったところもありますし、企業では富士通、NECなどは大手でありますし、中小企業ではやはりいろんな工場もあるし、特に等々力あたりの工場というのは、私は知らなかったんですが、昔は工場の前は牧場だったという話を聞きましてちょっと驚いたんですけれども、こういったことも子どもとかいろんな方に伝えていったら価値があるんじゃないかと思うので、できればそういった冊子的なものをおつくりになったらいいかかと思えます。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。

では、中森さん。

中森委員 ありがとうございます。文化、伝統に関して、外国から来ている方は、この地域のことはそんなに詳しくわからないので、できればこういうのを大事に伝えたほうがいいんじゃないかなと思っています。特に新旧住民の交流を、特に中原区内には結構新しい方がたくさん見えていて、同じ川崎市内だけじゃなくて、別の県から、外国からも結構新しい住民がふえてきているので、この地域の歴史とかもわからない方がたくさんいるので、できるだけ伝えていって、昔から住んでいる方たちがそれを伝えられる環境をつくるのも大事じゃないかなと思っています。特に祭りとかおみこしとかが結構時期によってあるので、新しい方たちはそういう情報も余り知らなくて、結局昔から住んでいる皆さんが参加していて、新しい方はただ単に見ていて、どういうふうに参加したらいいかなと思いつながら過ぎてしまうんですね。だから、そういう新しい方たちも一緒に参加できる環境をつくるのは大事じゃないかなと。ありがとうございます。

川連委員長 ありがとうございます。私も本当に中原というところはすばらしい歴史が

あるところだと思っているし、この夏も、自分のことを言っただけなんですけれども、日枝神社というのがありまして、すばらしい1200年も続いている神社で、本当に壮大な儀式というか、物すごいんですよ。実際に行って、こんなすごいことをやっているところはほかにないんじゃないかと。私も式に参列したんですけれども、ちょっと列を外れて写真を撮って、こういう本当にすばらしい儀式を中原区内の皆さんに知ってもらいたいなと思って写真も何枚か撮りまして地域振興課に写真を提供してあります。今度はそういうのも皆さんに見ていただける時が来ると思いますので、本当にすばらしい歴史が中原にありますよ。

成田さん、すみません。

成田委員 私の場合も、再三子育て関連に関しての話が続いていましたので、やっぱりちょっと関連づけちゃうんですが、お子さんを初めて持たれて、その方が地域の今委員長がおっしゃられたお祭りに本当に参加しておみこしを担がせていただいたら、本当にそのときに地元のつながりはすごくできるんじゃないかなと思いました。

中原区に転入してきた方が住みたい町として考えていらっしゃるというお話も最近よく聞くようになりまして、そうなるのと、やっぱり今ある町並みだけではなくて、そこに古くからいらっしゃる方の語り部ではないですけども、昔からあった貴重な方々の昔の経験談ですとかそういったものをやっぱり伝えていながら、中原の歴史の中でいいこともあれば、戦災で非常に大変な混乱を迎えた時期もある。そういったものを踏まえて今の町があるということを皆さんで共有して行って、それからその先、大人になっていく子どもたちがどういうまちづくりを自分たちの住む町を考えていくか、そういうきっかけづくりになってくれればいいかなと思います。その点ではやはりまた世代交流も必要ですけども、やっぱりそういう情報発信という点で今本当に効果的になっていますスマートフォンを初め、簡単にネットで接続できる利便性の部分を踏まえた上で、いろいろな情報発信を若い世代の方にも提供していただけたらいいんじゃないかなと思います。

川連委員長 ありがとうございます。

橋本さん。

橋本（貞）委員 私も中原区に住んでもう50年以上になりますけれども、歴史とかそういうことを、本当に恥ずかしいですけども、全然わかりません。日枝神社があることはわかっていますけれども、そのすばらしい伝統とかそういうようなこともわかりませんので、やはりこの区民会議の中で取り上げていただいて、いろいろ中原区にそういうすばらしいものがあるということを伝えていくのは大変結構なことだと思います。

ですけども、いろいろこのような計画や企画は立派にあるんですけども、実行していくにはやはり地域の方たちの協力がないと達成できませんね。例えば子育て支援できたら、どうしても社会福祉協議関係のそちらのほうに頼んでしまえば一番やりやすいとか進みやすいというのがありますけれども、やはり世代間交流とかも考えますと、そういうと

ころも少し考え直していけば、もっと充実した内容で実行できるのではないかと思います。そんなことで、私自身もそういう中原の歴史や文化と一緒に勉強させていただきたいと思います。

川連委員長 私も全然知らないんですよ。本当に狭い地域のことしかわかっていないので、新しい住民の方は、本当にまだ中原区でこんなことをやっているというのを全然知らない方もいらっしゃるし、いいものほとにかくどんどん情報発信していかないとわかってもらえないと思うんです。塚本さんなんかよく御存じですけども、おみこしなんかほとんど見ないというか、ハロウィンだとかそういうのは皆さん乗ってきますけれども。だから、そういう中原のずっと昔から続いているようなことも皆さんに本当にわかるようにしたほうが私はいいと思っています。

橋本（貞）委員 ごめんなさい、1つ追加なんですけれども、おみこしに関して、ことしは法政二高の生徒さんに、サッカー部の方なんですけれども、監督さんとちょっと知り合いというか、つながりがありましたのでサッカー部をお願いしましたが、2年生が20名来てくださったんですね。私どもの木月1丁目の町会ですけども、それはそれは若い人というのは、若さというのはすばらしいですよ。我々の年代よりちょっと若目のおじさんたちがえんこらさっさで担ぐよりはすごく活気があって、やはり住民も地域のプレーメン通りもすごくにぎやかになりましたので、そういうふうに学校なんかも喜んでいました。生徒にそういうふうなことを経験させていただいてということで。私たちは生徒たちのお食事とかおやつとかを準備するんですけども、すごく食べるんですよ。本当に1食じゃなく3食分ぐらいまいまいと食べる、その顔を見ているだけでも幸せになりましたので、そんなふうに学校なんかも一緒に巻き込んで交流していったことは私たちはよかったかなと思っています。済みません、余計なことでした。

川連委員長 ありがとうございます。橋本さん。

橋本（満）委員 新旧住民が接するとなると、なかなか取っかかりが難しくて、子どもを通じて接するようなことができるんですが、それ以外にやはり神社のみこしなどの祭り、それから夏休みになってほとんど町会等でやっている盆踊りとか、それから商店街でいろいろ祭りとか夜店なんかをやる、ああいった場で新旧住民が接して、私なんかマンションに住んでいるんですが、マンションの人間がふだんは余り声をかけたりしないんですが、ああいう場に行くと顔を合わせて声をかけ合うというようなことで、やはり新旧住民の交流ということになると、そういったことが大事になるのかなと思います。

きょうは、先ほど区長さんから話がありましたメディアネットワークというのが出ていましたが、ああいった中で区内の祭りとかそういったものを載せてもらって、そういったことでいろんな場に住民が足を伸ばしていけるような形をとっていくというようなことも取っかかりになると思いますので、このメディアネットワークをうまく育てていただければというふうに期待しています。

川連委員長 ありがとうございます。

では、藤島さん、お願いします。

藤島委員 先ほどの子育てのほうなんです、5ページのところで、ちょっとこれはうちで読んだときにきょう発表させていただきたいと思ったんですが、子育て支援のところでプレママ、プレパパというのがあるんですが、生涯学習センターの講座でお父さんたちを相手に講座を開きましたら満杯になりまして、そしてさばき切れなくてお断りしたというんですね。私は、随分もったいないことでお断わりして、土曜日、あと部屋があいていなかったというような理由だったので、それだったらもっとこれからふやしたほうがいいんじゃないですかということをお話ししましたら、では、今後考えてみますということで、ぜひ区役所と生涯学習センターのほうでそういう連携をとってやっていただけたらと思っております。

それと、子ども会、先ほどボーイスカウトの話が出ていますが、子ども会に対しても現在あるんですから、もっと私たち町会も応援して、そういうところにも力を注いでやる必要があるんじゃないかなと思っております。

あと、今の伝統文化とかそういうことなんです、私たち中原区文化協会は中原市民館に事務局を置きまして、文化の団体が50、あと個人が大体50ぐらい入っているととても活発な文化協会なんですね。そして10月に文化祭をやりますが、きのうも会議がありました、すごく活発で、どんどん自分のほうから役をやるということで、大体きのうだけでも六、七十名集まっております。ぜひよろしかったらその文化協会も利用していただきたいと思っております。

また、毎年1月から3月までは市民館の連携事業としていろいろな先生方が本当に無料でみんな教えております。それもぜひどうぞ市民館だよりを見ていただきたいと思います。そして6月から10月ごろまでは、月に1回ですが、伝統文化、またいろいろな文化の無料体験を子どもと大人にさせておりまして、文化祭で発表するようにもしていますので、ぜひ私たちにできることでしたら何でもいたしますので言ってください。

そして、二、三年前なんです、この区民会議で平間の七曲がりというお話が出ましたが、市古参与から早速議会へ持って行っていただいて、平間の七曲がりの標識ができて、地元の方たちも知らないでいて驚いたんですが、本当に7つ曲がって鎌倉街道が多摩川に抜けたという実績もありまして、八百八橋も平間のところのものが区役所のところに来たりしておりますので、やっぱりどんどん意見とかそういうのを掘り起こして、そして実際に移して行っていただけたらと思ひまして、それに平間の七曲がりをあのようにしていただいた区役所の方も、平間の人たちも今とても喜んでおります。

以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。本日は皆さんの意見が非常に多くて、時間がちょっと危なくなってきましたので、今ちょっと難しい質問になってしまったんですけど

も、やはり中原の文化、歴史ですね。きょうは中山さんという委員がお休みになっちゃっているんですけども、非常に詳しい委員で、きょうはちょっと残念に思っております。皆さんのお話を聞いていますと、やはりそういう新旧なかなか難しいところがあるんですけども、中原のいいところ、そういう文化、歴史をこれからもテーマとしていいんじゃないかなと私は思っております。3つ目の審議テーマは、9月20日に開催予定になっております運営部会でもう1度お話をして決めたいと思っております。

#### 4 その他

##### ・「区民会議防災事業」災害図上訓練（DIG）の報告について

川連委員長 次に、区民会議の防災事業、先日行いました災害図上訓練の報告について事務局から説明をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局 それでは、中原区区民会議防災事業、中原区の防災の取り組みと災害図上訓練について報告させていただきますので、資料の8ページをお開きいただきたいと思います。

この訓練は、区民会議第4期検討テーマ、「絆を深めて支え合う防災体制づくり」を推進するため実施したものでございまして、自分たちが住む地域に起こるかもしれない災害をより具体的なものとして捉えていただき、学んだことを地域で実践してもらうことで防災意識の向上と地域全体のきずなを深めることを目的として、8月4日日曜日9時半より中原区役所の5階会議室で開催したものでございます。

当日は、中原区内自主防災組織関係者、区民会議委員関係者及び一般の参加者を含めまして103名の方が参加いたしました。

当日のスケジュールは2部構成といたしまして、1部では、中原区危機管理担当職員より、川崎市が想定する地震について、中原区の震度想定や地震被害想定、中原区の防災対策、家庭での備蓄等について詳細な説明をさせていただきました。2部では、NPO法人国際ボランティア学生協会危機対応研究所の宮崎所長を講師といたしまして災害図上訓練が行われました。訓練内容といたしましては、各中学校区ごとにエリア分けした図面に主要道路や一時避難場所、避難所を落とし込むとともに、病院や応急給水拠点、コンビニエンスストア等の拠点を地図上にマークしていく作業を行いまして、災害発生時にどのようなルートで自宅から避難場所まで避難するのか、所要時間はどのくらいかかるのかを参加者おのおのが確認し合いました。

いずれにしても、自宅周辺のエリアを対象とした図上訓練であったこと及び同一地域の方がそれぞれのテーブルに分かれて作業をしたことから新たな連帯感も生まれ、区民会議のテーマであるきずなを深めることもできた大変意義ある訓練であったと思います。参加者からは、実際に避難拠点や危険箇所を図面に落とし込むことで具体的な状況をイメージすることができた、このような訓練を繰り返し行うことにより連帯感が生まれ、災害時に助け合いがスムーズになるのではないかというような意見とともに、地域で実践するた

め、宮崎所長の講義の録音テープをもらいたいとの要望もございました。今後は、各地域ごとと同様の訓練が行われ、地域防災力の強化を図ることができればと思います。

報告は以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。何か質問はございますでしょうか。——なければ、次に移りたいと思います。

・第4期区民会議スケジュールについて

川連委員長 次に、第4期区民会議のスケジュールについて、また事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、区民会議のスケジュールについて御説明させていただきますので、9ページをお開きいただきたいと思います。資料4でございます。本日第5回の区民会議を開催してございます。この後、9月20日でございますが、第5回運営部会を開催する予定でございます。次のテーマについて論議を深めていく予定でございます。その後、第6回の区民会議、ここで正式に検討テーマを決めていく形になりますけれども、10月3日、10月4日、10月8日、10月9日、この4日間のうちのいずれかの日で開催していきたいと思っております。検討テーマが決まった後には、課題調査部会としまして一、二回を予定してございます。10月30日ないし11月1日、2回目が11月25日ないし11月26日を予定してございます。その後、第6回の運営部会、また第7回の区民会議で検討テーマについて結果を報告させていただく予定でございます。

スケジュールについては以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。ほかに皆さんから何か御質問でもあればお手を挙げていただきたいんですけども。——ないようですね。

それでは、ここで区民会議参与の皆様一言ずつ御意見をいただきたいと思っております。本日の議論を聞いていただいて、お気づきの点などの助言をお願いいたします。なお、時間の都合もございますので、恐縮ですが、なるべく短くよろしく願いいたします。市古さんから。

市古参与 皆さん、こんにちは。おくれて来て申しわけありませんでした。報告を聞きまして本当にさまざまな子育て支援が展開されていて、特にやっぱりこういうところに来られない方たちをどうやってフォローしていくのかというところで心を砕いてくださっているというところに非常に感銘をいたしまして、もう1つ、やっぱり中原は外国の方もすごく多くなっておりますので、外国の方にも視野を広げて取り組んでくださっていることはすごく素晴らしいことだなと思えました。

もう1つお聞きしながら考えていたのが、今大きな社会問題になってはいますが、子どもの貧困をどうやって断ち切っていくのかというところでさまざまな取り組みも広が

っています。やっぱり母子世帯は本当に幾ら頑張ってもなかなか収入が少ないというところで苦勞されている方がたくさんいらっしゃるって、せめて高校ぐらいは入ってもらって仕事や大学に進んでいける人をもっとふやしていこうという形で、そこも1つの貧困の連鎖を断ち切ることに繋がっていくんじゃないかということでは、国のほうも川崎のほうでも、中学生の学業の支援をやり始めて、私もいろんなところの視察をさせていただいているんですけども、やっぱり外国の話をお聞かせすると、そこだけでは間に合わないというところで、イギリスあたりではもうおなかにいる段階からこの貧困の連鎖を断ち切っていくというところでさまざまな取り組みがされているという話を伺いましたので、私も孫がいてその辺ちよろちよろしていますけれども、やはり本当に全ての子どもに幸せになってほしいなという思いをしながらきょうの皆さんの御報告や取り組みを伺いました。

本当にありがとうございました。

大庭参与 どうも皆さん、きょうも1日お疲れさまでございました。大庭です。きょうも大変勉強させていただきました。きょうの資料で課題調査部会の会議録などもちょっと見させていただいたんですけども、まとめのところでも、やはりきょうの議論もそうだったと思うんですけども、子育てのテーマでは、本当に今場所と支える人を見つけるのが大変ということがやっぱり大きなテーマかなと思います。

場所というところでは、今度カフェですとか子育てサロンですとかいろんな取り組みを実践もされてきているかと思うんですけども、かつては本当に、今もそうだと思うんですけども、公園デビューということがかなり社会問題にもされて、そういう中で子育て支援センターですとか集まる居場所とか、お母さんたちの居場所をどうつくっていくのかということでも少しずつ広がってはきているかなと思うんですけども、やはりこの中原区は人口も急増していますし、本当に場所がないということで、いろんな場所を考えていかなきゃいけないとも思うんですね。そういう中で私も話を聞いていて、空き店舗だとかいろんな法制度や制度の仕組みを本当に変えて乗り越えていかなきゃいけない部分はたくさんあるのかなと思うんですけども、やっぱり本当に地域を目を凝らしながらそういう場所を考えていく必要があるんじゃないかなということですか。

それと、きょうお聞きしてまして、再開発のところで小中学生のことが気になるという御発言があって、そういうことも、今、商業施設が大きく広がっていて、お金の使い方ですか、そういったところも気にされている保護者の皆さんも出てきているのかなということもちょっときょう新たな視点でお伺いしたということも大変勉強になりました。

今度の検討テーマということで文化の問題、歴史、伝統という中原区の魅力をどう発信していくかという今度の検討テーマにもなると思うんですけども、そのときも私も聞きながら、井田というところにひとみ座という、ひょっこりひょうたん島で、私ぐらいの世代は本当に有名なひとみ座なんですけれども、きょうのテーマとの関係で、やっぱりそういう多世代との交流ですとか新旧住民の交流ということで、今あるそういった既存の団体

や演劇活動をされているとか、そういったところの掘り起こしをしながら、どう地域の人たちとつなげていくのかということなんかもちょっとお話を聞きながら頭をめぐらせていただきました。

本当にきょうもありがとうございました。

押本参与　こんにちは、遅参しまして失礼いたしました。きのう、きょうと第3回定例会の議案説明がありまして、また午前中委員会があって、今、来週の水曜日に向けて代表質問の項目を、委員の皆さん、そうなんですけれども、皆さんやっております、忙しい中、遅参をしまして大変失礼いたしました。また、DIGのほうも私は参加させていただいて見学をさせていただいて、多くの皆さんに集まっていたいただいて、特に中学校区ということで地域に根差したDIGの訓練ができたことは大変うれしく思っておりますし、また大変実になった訓練を拝見させていただきました。ありがとうございました。

きょうの審議のテーマ、ちょっと私聞けなかったものですからあれですけれども、この8月中にずっと保育会とか関係団体の方からヒアリングをうちの団は行ってまいりました。その中でもやっぱり場所の確保というのはもちろん、大庭先生がお話しされていましたが、確かにそうなんです、それを保育する人の質のほうも、これは場所がふえればふえるほど低下していってしまいますので、そういった部分を気をつけた施策の展開をしていかないと、これはただ場所の提供をしているだけではだめだなと特に思った次第でございます。

またちょっと防災の関係でお話を聞いていなかったものですからさせていただきますと、今週の31日の土曜日に川崎市の総合防災訓練がこの中原区等々力の催し物広場で開催されますので、今回1回目の検討テーマですか、防災のことを取り上げていましたから、ぜひとも足を運んでいただいて、そういうふうな皆さんが審議をしたテーマ、また川崎市でも取り組んでいることを拝見していただいて、また地域に帰って返していただけたらなと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

きょうはこの一言とさせていただきます。ありがとうございました。

松川参与　皆様、こんにちは。松川でございます。長時間にわたりまして本当にお疲れさまでございました。先ほどまで隣に松原議員もいらっしゃいましたので御報告だけさせていただきます。と思っております。

まず1つ目でございますけれども、災害図上訓練、DIGの話でございますが、私も議会の中でこれは絶対に地域のきずなを深めるためにも、また防災意識を高めるためにも有用だからということで議会の中で訴えさせていただきました。そのような中で区民会議で取り扱いをいただきまして、過日本当に有意義な訓練をしていただいたということに関して感謝申し上げたいと思っておりますし、ぜひともこれを機会に中原から発信させていただいて、各ほかの6区に向けても開催していただければと思っております。

また、子育て支援でございますけれども、私も何回かお話ししたかもしれませんが、今3歳の子どもを育てている真っ最中でございまして、青木会長からもお話がありましたように、子育てサロンでもお世話になりました。また小学校の子どもたちに娘をだっこしてもらって、そんな経験もさせていただきまして、中原区の区民会議の皆さんが先頭に立ってしっかりと進められているなどというのを実感しているところであります。また、反町さんを中心にしてふれあいカフェというものも成功裏におさめていただきたいなど思っているところであります。

歴史ということでもありますけれども、ちょうど先ほど市古先生から平間の七曲がりというようなお話もあったわけでございますけれども、ちょうど多摩川の堤防が今の状況になるきっかけになりました陳情活動を以前県に行ったんですけれども、ちょうど手前にございます八幡大神という神社で県に要望活動しようじゃないかということでみんなが集まった事件のことをアミガサ事件と言いますけれども、ちょうど本年9月15日で100年を迎えるということでございまして、中原区というのは歴史をひもといていくと本当に楽しいものであるなど思っておりますので、この課題に向けてまた皆さんも御尽力いただきながらお話し合いいただきたいと思っております。

また、文化という一言でございますけれども、稲富委員もいらっしゃいますけれども、川崎フロンターレの優勝をぜひとも実現していただきますことを期待させていただきます、一言の御挨拶とさせていただきます。

本当にきょうはお疲れさまでございました。

川連委員長 ありがとうございます。ただいまの皆様の発言は今後の区民会議の運営の参考にさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

では、事務局から何かございますか。

事務局 地域保健福祉課でございます。お配りしております参考資料の11番、後ろから2枚目のものがございます。中原区地域福祉計画普及啓発事業映画上映会のチラシでございます。こういったカラー刷りのチラシが後ろについているかと思っております。この映画上映会につきまして、お知らせといたしますか、PRを少しさせていただければと思っております。

現在、中原区では、「福祉のこころ 人と人との橋わたしで支え合える地域づくり」の理念といたしまして、第3期中原区地域福祉計画に取り組んでいるところでございます。この福祉計画の普及啓発事業の1つとしまして毎年映画上映会を開催しております。今回は「毎日がアルツハイマー」の上映でございます。この映画は、日常の場面で認知症の人や家族が出くわすさまざまな出来事を、笑い、泣き、そしてまた笑うといったようなユーモアいっぱい描いている映画でございます。これから迎える超高齢社会に向けまして家族についてどう考えるか、また地域とどうかかわっていくかなど、改めて考えるよい機会になるかと思っております。

上映日時は平成25年9月25日水曜日9時15分から11時20分でございます。場所は中原市

民館ホール、当日先着順で250名、無料でございます。御都合がよろしければぜひごらんいただければと思います。

以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。

事務局 続きまして、配付させていただいております資料の一番後ろに「川崎市自治推進委員会ニュースレター」というのがございますので、時間もございませんので本当に簡単に説明させていただきます。

川崎市自治推進委員会でございますが、自治の拡充、推進を図り、暮らしやすい地域社会の実現に寄与することを目的に平成18年に設置された組織でございます。自治基本条例における自治運営の基本原則に基づく制度等のあり方を調査、審議する委員会でございます。これまで今年度は4回委員会が開催されております。7月18日に開催されました第4回の自治推進委員会では区民会議及びコミュニティについて意見交換が行われたということでございます。ちなみに、今期の委員会における調査審議事項は資料に記載のとおり7項目ございます。今回7月18日に審議された内容はこの6番と7番の項目が審議されたということでございます。

区民会議に関する主な意見、区民会議の認知度の向上、実効性を持たせるために必要なこと、区民会議委員の確保、まちづくり推進組織の役割と違い等、さまざまな意見が出ましたので、これにつきましては後ほど御参照いただければと思います。

裏に参りまして、今後のスケジュールでございますが、5回目がこの10月9日水曜日15時から17時、高津市民館の12階の第6会議室で開催される予定でございます。議題につきましては、条例に基づく取り組みの総合評価、報告書骨子の確認等でございます。もしお時間がある方は参加していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

報告は以上でございます。

## 5 閉会

川連委員長 ありがとうございます。きょうは本当に議長の手際の悪さで時間オーバーになりました。皆様に協力をいただき、きょうは議事も全て終わりました。本当に申しわけございません。ありがとうございます。

これで第5回の中原区民会議を閉会させていただきます。皆さん、御苦労さまでした。ありがとうございます。

事務局 次回の第6回の区民会議でございますけれども、10月3日木曜日、4日金曜日、8日火曜日、9日水曜日のいずれかの日の午後で開催を考えておりますので、御都合の悪い方がいらっしゃいましたら、会議終了後、事務局までお申し付けいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

以上でございます。

午後5時6分 閉会